

【縣市町村事例】

嬉野市の浄化槽市町村整備推進事業の取り組みについて

佐賀県嬉野市産業建設部環境下水道課

主査 梶原 祥一

1. 嬉野市の概要

嬉野市は、平成 18 年 1 月 1 日に嬉野町と塩田町の 2 町が合併し誕生しました。佐賀県南西部に位置し、総面積 124.41 ㎢であり県下第 5 位の面積を有しています。

嬉野虚空蔵山系に源を発する塩田川は、市の中央部を横切り沿岸地域の耕地の灌漑用水となって有明海に注いでおり、その流路の延長は 30 kmに及び、流域面積は 130 ㎢となっています。

気候は夏が高温で雨が多く、冬は日本海側に位置しているにもかかわらず、概ね天候に恵まれています。また、市全体の約 60%を占める森林では、その大部分が針葉樹を主として植林されており、その裾野では本市の特産物であるお茶の栽培や肥沃な水田では稲作や施設営農等の畑作も盛んに行われております。また、多良岳火山の余勢によるとみられる良質で高温の温泉資源を有しており、温泉観光地としての賑わいを見せています。季節ごとに様々なイベントが開催されており、平成 18 年度は 1,820 千人であった観光客数は平成 27 年度に 2,032 千人となり、年々**増加**の傾向にあります。

しかし、現在の行政人口は 27,262 人（平成 28 年 3 月末現在）であり、合併後 10 年で約 3,000 人の人口が減少しており、今後においても 2040 年で約 20,800 人まで減少する予測もされており、人口減少に歯止めがきかない状態になっています。



(図 1 嬉野市の位置)



(写真 1 公衆浴場シーボルトの湯)

2. 嬉野市の生活排水の状況

嬉野市の生活排水処理施設の整備状況は、集合処理整備を嬉野町で公共下水道、塩田町で農業集落排水に合併以前から取り組んでおります。

公共下水道事業は、平成 12 年度から事業を着手し、現在、全体計画区域を 494ha として、随時認可区域を拡大しながら、事業の進捗を図っています。平成 28 年度末の供用開始区域面積は、261.2ha であり、未だ半分程度の整備が残っている状況です。

農業集落排水事業は、平成 6 年度より事業着手し、美野、上久間、馬場下、五町田・谷所地区の 4 地区を供用開始しています。五町田・谷所地区においては、資源循環施設（コンポスト化施設）を有しており、農業集落排水処理施設 4 処理場の濃縮汚泥及び脱水汚泥を醗酵させ堆肥化しています。

浄化槽事業は、平成 26 年度まで補助金による個人設置型浄化槽事業のみを行っていましたが、汚水処理普及率の向上及び生活環境の改善等を目的として、平成 27 年度からは新たに市町村設置型浄化槽事業に着手しました。

市全体の汚水処理普及人口は 16,666 人、普及率は 62.2%となっており、全国平均及び佐賀県平均より低い水準となっております。

(表 1 嬉野市の生活排水処理の状況)

汚水処理形態	処理区	人口 (人)	普及率 (%)
公共下水道	嬉野処理区	6,644	24.8
農業集落排水	上久間	652	2.4
	美野	731	2.7
	馬場下	1,639	6.1
	五町田・谷所	3,342	12.5
浄化槽	市全域	3,658	13.7
合計		16,666	62.2

3. 市町村型浄化槽事業導入の経緯

嬉野市営浄化槽事業に取り組んだ経緯

1. 汚水処理人口普及率の早期向上 (10年概成)

○嬉野市 58.9% ○県平均 78.8% ○全国平均 88.9%
県平均△ 19.9% 全国平均△ 30.0%

2. 集合処理区域と個別処理区域の公共サービスの格差解消

(例)一般家庭(4人家庭、水道使用量20m³)の場合

種別	算式	使用料等
個人設置浄化槽(5人槽)		3,960円
公共下水道(集合処理)	$(10 \times 150 + 1,200) \times 1.08$	2,910円
料金格差	3,960 - 2,910	1,050円

年額換算 1,050円/月 × 12月 = 12,600円 (集合処理が安価)

3. 農山村地域への定住促進

農山村地域の生活環境の向上を図り、空き家バンク等の活用により、転入及び定住の促進

4. 災害に強いまちづくり

地震等の災害時における汚水処理の早期復旧が可能。(分散型処理によるリスク回避)

(図 2 嬉野市営浄化槽に取り組んだ経緯)

①汚水処理人口普及率の早期向上（10年概成）

国土交通省、農林水産省、環境省、3省統一の都道府県構想マニュアルにおいて、10年程度での汚水処理施設の早期概成が提言され、現状の普及率向上のため新たな汚水処理施設整備の取り組みが必要となった。

②集合処理区域と個別処理区域の公共サービスの格差解消

集合処理区域と個別処理区域の汚水処理に関し料金格差が生じており、その解消が必要となった。

③農山村地域の定住促進

人口減少は市内全体で進行し、特に汚水処理施設が整備されていない地域の減少率が大きく、他の施策とも連携した定住促進、及び移住者の確保が必要となった。

④災害に強いまちづくり

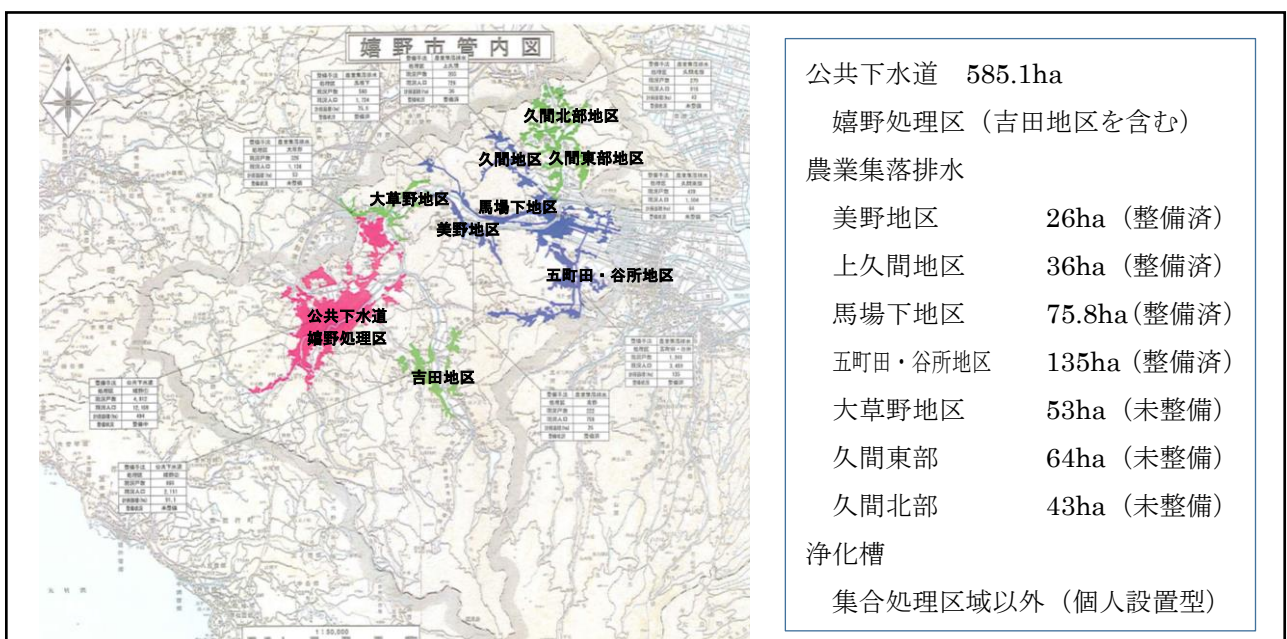
佐賀県は、地震等の自然災害による影響が少ないと考えられているが、新たな地域防災計画においては今後震度6程度の地震が起こる予測もされているため、災害に強い個別分散型汚水処理施設整備への施策転換が必要となった。

4. 生活排水処理施設整備手法の見直し

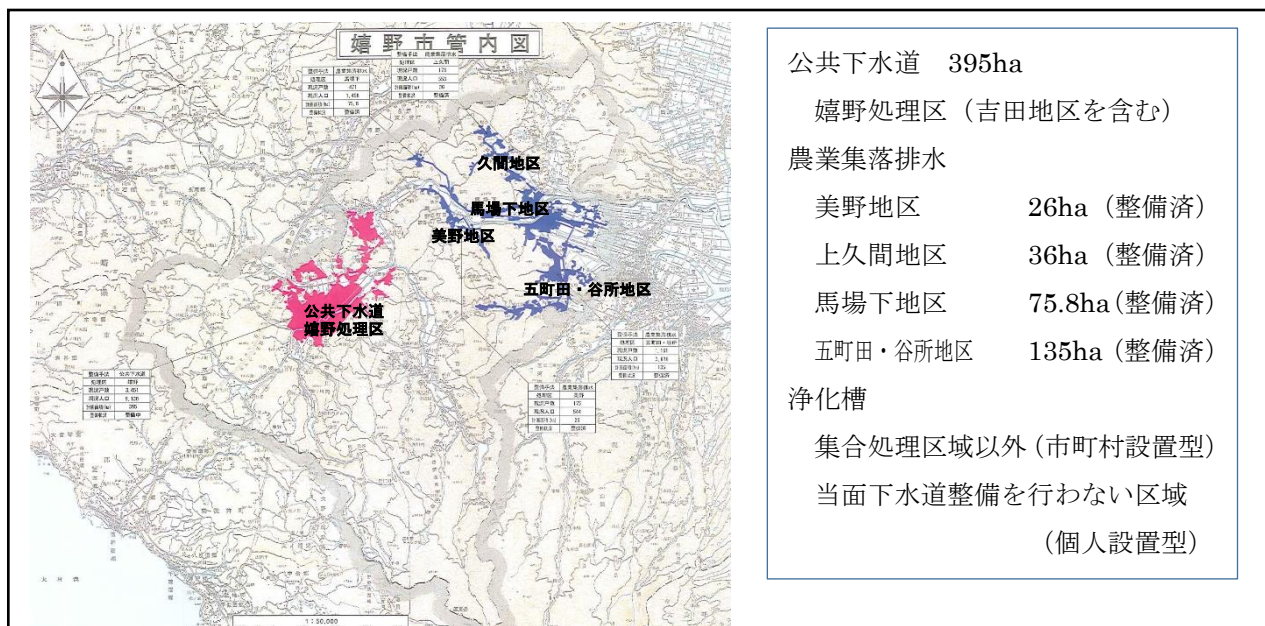
嬉野市では、平成27年度に生活排水処理施設整備構想を見直し、公共下水道581ha、農業集落排水7地区（既整備4地区）から、公共下水道395ha、農業集落排水4地区、その他の区域は市営浄化槽事業として構想を見直しました。

また、公共下水道については、さらに区域を見直すこととしており、現在嬉野市下水道審議会において、さらに約90haの区域縮小に向けた検討を行っています。

これにより、イニシャルコストの縮小及び、公共下水道整備を待つことがなくなるため、住民サービスの向上が期待できます。



(図3-1 嬉野市生活排水処理施設整備構想見直し前)



(図3-2 嬉野市生活排水処理施設整備構想見直し後)

5. 地方創生に関する取組み

嬉野市の将来人口予測は、1. で記したとおりであります。地方創生の取り組みとして下記の関連施策と連携し、人口流出対策に取り組んでいます。

①地域コミュニティ推進事業

本事業は、市内各小学校区単位（7団体）で構成される地域コミュニティ運営協議会がコアとなり、「地域のことを一番よく知るそこに住む住民自身が、自分たちの地域は自分たちで住みよくする。」という意識のもと、河川清掃などの美化活動、また、児童に対しホタルの幼虫やアユ、ツガニなどの放流などの環境教育などを行う事業。

②嬉野市定住促進奨励金事業

定住人口の確保と増加を図るため、市内に定住することを目的として住宅を取得された方に対し、転入奨励金又は持家奨励金を交付する事業。

③空き家バンク事業

市内にある空き家を斡旋し、定住促進と地域の活性化を図る事業。

6. みなし浄化槽からの転換について

嬉野市においては、平成28年末で158基（市営浄化槽区域内）のみなし浄化槽が設置されています。みなし浄化槽は水洗化するために平成12年以前に設置されてきた浄化槽であり、公共用水域の水質悪化を招く原因でもありました。現在の合併浄化槽に転換した場合は、トイレは水洗化のままであるため、使用者のインセンティブ向上にはならず、壊れるまで使用し続ける状況にあります。

このことから、平成29年度より撤去費の補助金を交付し、みなし浄化槽から合併浄化槽への転換促進を図っています。

7. 平成 29 年度からの新たな取り組み

平成 29 年度の嬉野市営浄化槽事業は、新たに環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に取り組むこととしました。これは、通常交付率が 1/3 から 1/2 へ拡充されるもので、ブローの消費電力が国の定める基準値以下であることが条件となっております。

これに関しては、旧低炭素型社会対応型浄化槽整備推進事業の要件であった、みなし浄化槽の転換基数等の要件に、地域防災計画等に掲げる浄化槽の面的整備等の要件が加えられたものであります。これにより、起債の事業に対する率が 17/30 から 12/30 に低減され、下水道並みの交付金の恩恵を受けることができます。

8. 浄化槽に関する今後の課題

現在、新規及び帰属併せて 200 基を超える市営浄化槽の管理を行っています。浄化槽の維持管理においては、4 カ月に 1 度程度の保守・点検での状態管理が重要であり、使用者が排出する水質に合った、ばっ気風量調整や循環水量の調整が必要であります。

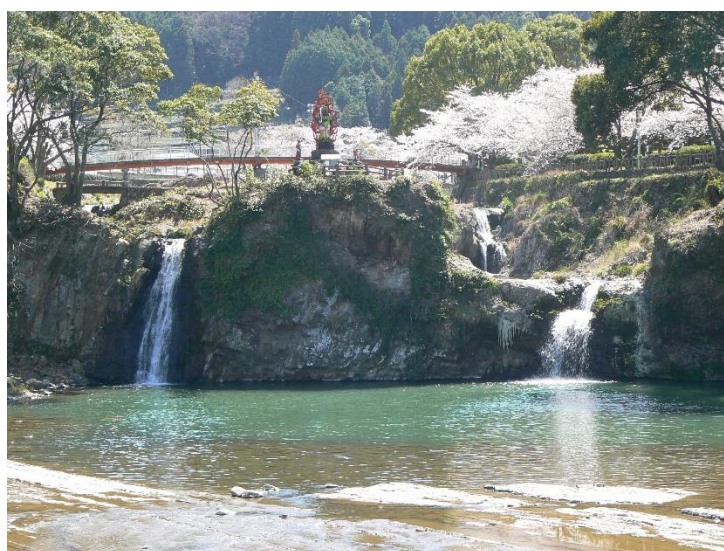
また、BODや透視度異常を起こす場合に溶存酸素量が 1.0mg/L を下回る場合が多く、ブローを交換するなどの対応を行っています。

このような中、市と維持管理業者が連携し、相互のスキル向上が必要であると考えております。また、今年度は浄化槽メーカーによる実地検討会等を開催する予定としており、スキル向上の一助になればと考えております。

9. おわりに

嬉野市営浄化槽事業は、事業開始から 3 年目を迎え、整備率の向上及び公共用水域の水質保全の成果が発揮されています。しかし、浄化槽整備の推進及び維持管理の効率性などの難しさを感じています。

今後は、施工業者及び維持管理業者と協力しながら、様々な課題をクリアし、すばらしい水環境の創造に努めていきたいと考えております。



(写真 2 嬉野市の景勝地「轟の滝」)